

2025年12月期 第3四半期 決算説明会資料 荏 原（6361）

2025年11月13日

Looking ahead,
going beyond expectations
Ahead  *Beyond*

当決算におけるポイント

1. FY25 1-3Q連結決算サマリ

- ・連結業績
- ・セグメント別
- ・営業利益増減分析
- ・地域別売上収益

2. FY25 1-3Qセグメント別業績

- ・建築・産業
- ・エネルギー
- ・インフラ
- ・環境
- ・精密・電子

3. FY25 業績予想

- ・セグメント別事業環境認識
- ・連結業績
- ・セグメント別
- ・営業利益増減分析

P3

P5

P6

P7

P8

P10

P11

P12

P13

P14

P18

P19

P20

P21

4. トピックス

- ・荏原グループの中期的な投資戦略
- ・2035年にありたい事業ポートフォリオのイメージ
- ・建築・産業セグメントのM&A戦略

P23

P24

P25

5. 補足資料

- ・連結業績予想
- ・受注高
- ・売上収益
- ・営業利益
- ・受注残高
- ・地域別売上収益
- ・サービス&サポート(S&S)売上収益
- ・貸借対照表
- ・キャッシュ・フロー
- ・資本的支出、減価償却費、研究開発費
- ・ESG Topics

P28

P29

P30

P31

P32

P33

P34

P35

P36

P37

P38

■ 略語の説明

- ・ FY：会計年度（例「FY25」は2025年12月期会計年度）
- ・ 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している

■ 本資料で示す財務数値はIFRSベースで記載している

FY25 1-3Q 業績

	実績	前年同期比
受注高	6,801 億円	+365 億円 +5.7% ↗
売上収益	6,635 億円	+592 億円 +9.8% ↗
営業利益	695 億円	+97 億円 +16.2% ↗
営業利益率	10.5%	+0.6pts
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	446 億円	+36 億円 +8.9% ↗

↗は+5%以上、↘は-5%以上の変化、→は変化が±5%未満

FY25 通期業績予想

	計画	前期比	旧計画比*
受注高	9,440 億円	+834 億円 +9.7% ↗	+40 億円 +0.4% →
売上収益	9,270 億円	+603 億円 +7.0% ↗	+270 億円 +3.0% →
営業利益	1,100 億円	+120 億円 +12.3% ↗	+75 億円 +7.3% ↗
営業利益率	11.9%	+0.6pts	+0.5pts
親会社の所有者に 帰属する当期利益	740 億円	+25 億円 +3.6% →	+16 億円 +2.2% →

*2025年8月14日公表の計画値との比較

ポイント

FY25 1-3Q 業績 増減はFY24 1-3Q比

- 受注高、売上収益、営業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益はいずれも3Qとして過去最高を更新
- 引き続き中国市場の減速感はあるものの、売上収益は全セグメントで増収。営業利益は、環境、エネルギー、インフラの寄与に加え、建築・産業で前年同期に計上したのれんの減損損失が生じないため全社では増益

FY25 業績予想

- 通期業績予想は、全社としては受注高、売上収益、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益いずれも上方修正
受注高については、精密・電子と建築・産業を下方修正、環境とインフラを上方修正
- 米国の関税政策による業績への影響は2Q時点から大きく変わらず限定的

その他

- 自己株式取得枠*200億円のうち、102億円を取得済（2025年10月31日現在）

1. FY25 1-3Q 連結決算サマリ

2. FY25 1-3Q セグメント別業績

3. FY25 業績予想

4. トピックス

5. 補足資料

1. FY25 1-3Q 連結決算サマリ

連結業績



(単位：億円)	FY24 1-3Q 実績 a	FY25 1-3Q 実績 b	前年同期比	
			増減 b-a	増減率 (b-a)/a
受注高	6,436	6,801	+365	+5.7%
売上収益	6,043	6,635	+592	+9.8%
営業利益	598	695	+97	+16.2%
営業利益率	9.9%	10.5%	+0.6pts	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	410	446	+36	+8.9%
基本的 1 株当たり四半期利益 (円) *1	88.87	96.76	+7.90	+8.9%
為替レート*2				
対米ドル (円)	151.14	148.18	-2.96	
対ユーロ (円)	164.22	165.50	+1.28	
対人民元 (円)	20.99	20.53	-0.46	

*1 2024年7月1日に1株を5株とする株式分割を実施。記載は株式分割後ベースに調整した数値

*2 為替レートは各四半期における期中平均レートを単純平均で表記

1. FY25 1-3Q 連結決算サマリ セグメント別



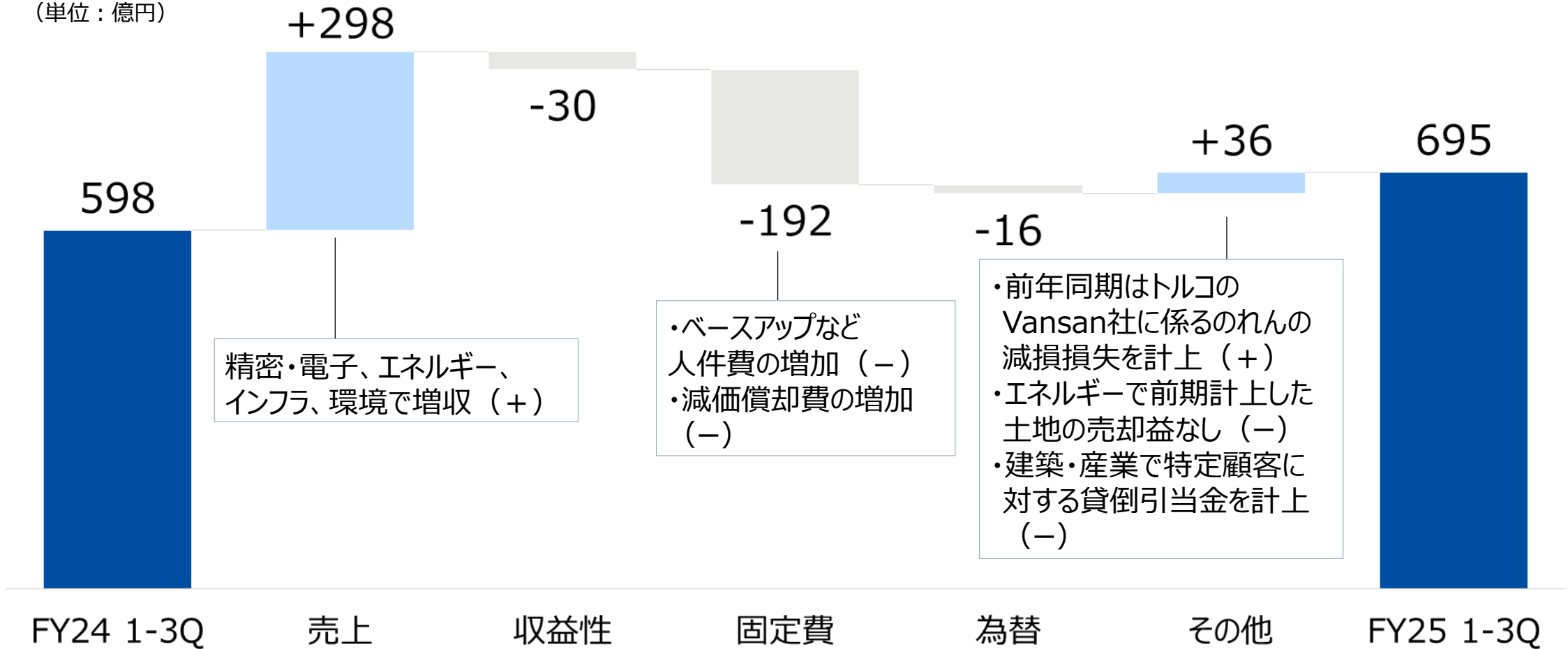
(単位：億円)

(単位：億円)		FY24 1-3Q 実績	FY25 1-3Q 実績	前年同期比	
				増減	増減率
				b-a	(b-a)/a
連結合計	受注高	6,436	6,801	+365	+5.7%
	売上収益	6,043	6,635	+592	+9.8%
	営業利益	598	695	+97	+16.2%
	営業利益率	9.9%	10.5%	+0.6pts	
建築・産業	受注高	1,845	1,883	+37	+2.0%
	売上収益	1,727	1,734	+6	+0.4%
	営業利益	55	105	+50	+90.9%
	営業利益率	3.2%	6.1%	+2.9pts	
エネルギー	受注高	1,662	1,509	-152	-9.2%
	売上収益	1,451	1,593	+141	+9.8%
	営業利益	153	170	+17	+11.4%
	営業利益率	10.6%	10.7%	+0.1pts	
インフラ	受注高	447	456	+8	+1.9%
	売上収益	347	417	+70	+20.2%
	営業利益	23	36	+13	+55.9%
	営業利益率	6.8%	8.8%	+2.0pts	
環境	受注高	631	933	+302	+47.8%
	売上収益	592	648	+56	+9.5%
	営業利益	51	72	+20	+40.5%
	営業利益率	8.7%	11.2%	+2.5pts	
精密・電子	受注高	1,840	2,010	+170	+9.3%
	売上収益	1,915	2,233	+317	+16.6%
	営業利益	336	328	-7	-2.2%
	営業利益率	17.6%	14.7%	-2.9pts	
その他、調整	受注高	8	8	-0	
	売上収益	8	9	+0	
	営業利益	-22	-19	+2	
	営業利益率	-258.5%	-206.8%	+51.7pts	

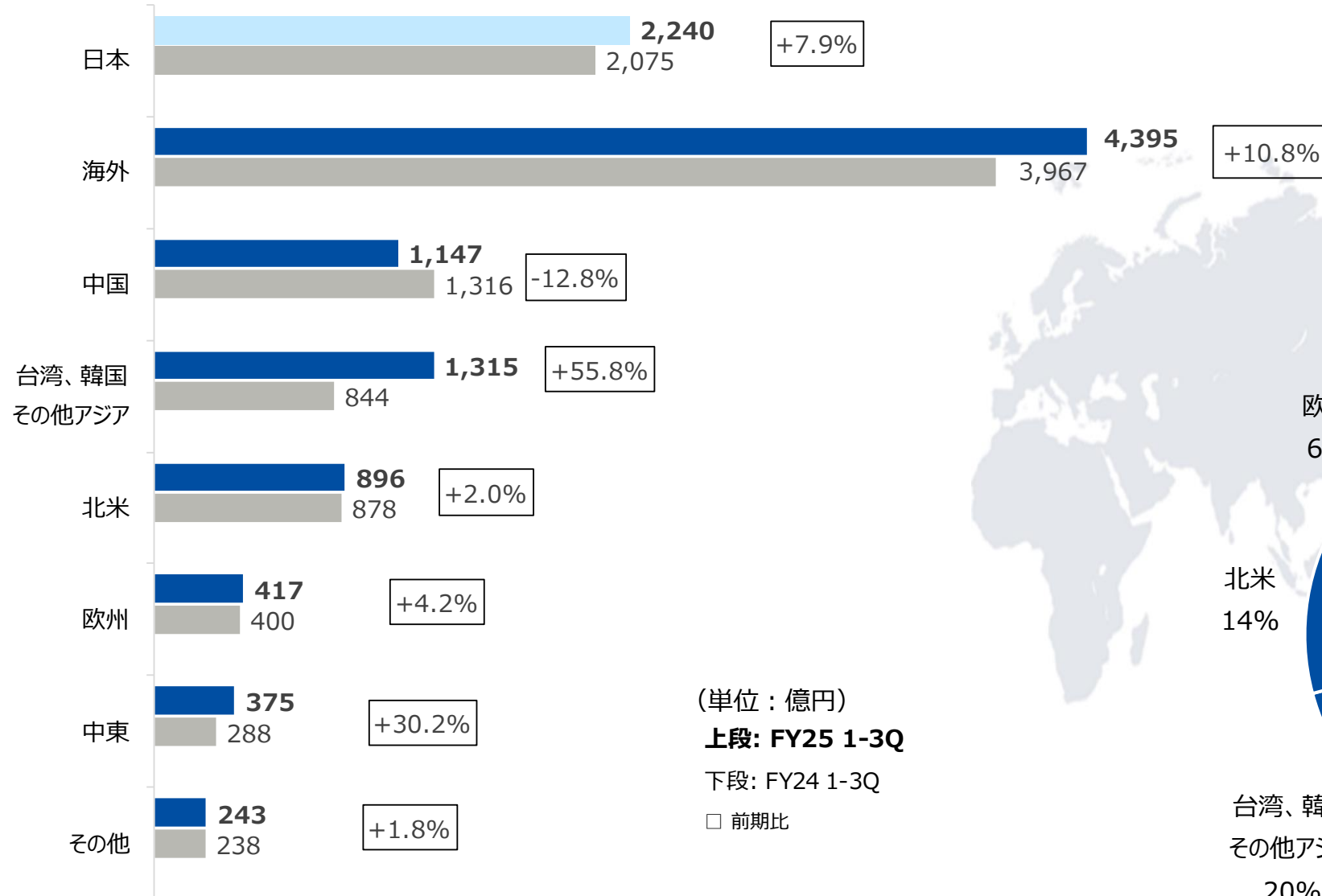
営業利益増減分析

増収効果が固定費増を上回り増益

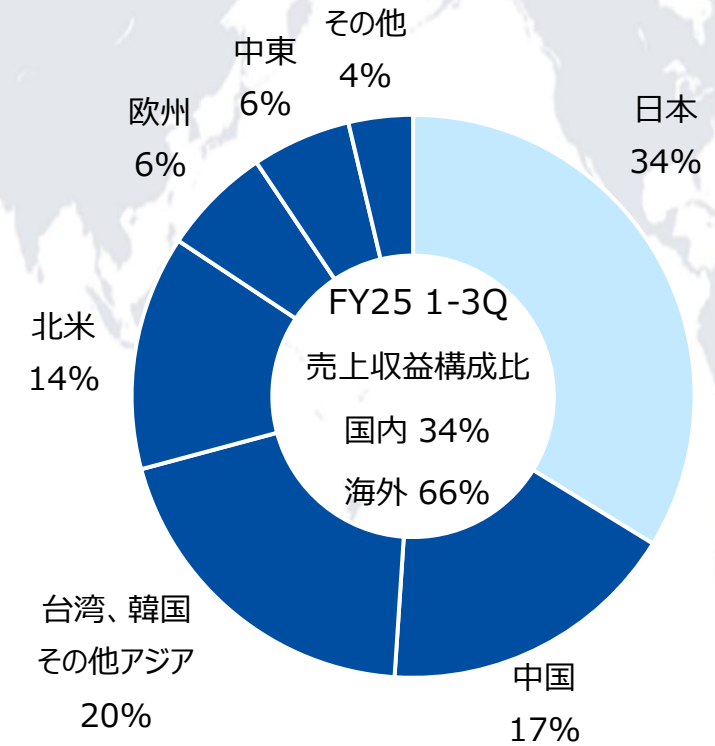
(単位：億円)



地域別売上収益



(単位：億円)
上段: FY25 1-3Q
 下段: FY24 1-3Q
 □ 前期比



※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

1. FY25 1-3Q 連結決算サマリ

2. FY25 1-3Q セグメント別業績

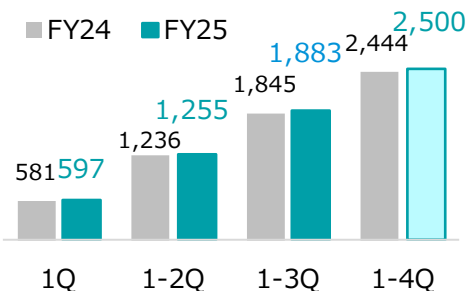
3. FY25 業績予想

4. トピックス

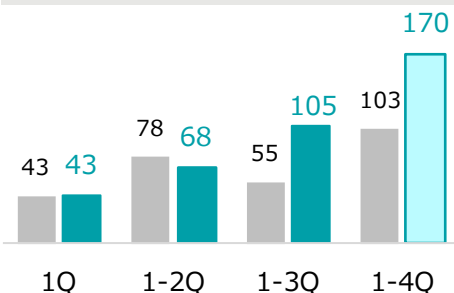
5. 補足資料

業績推移 (単位: 億円)

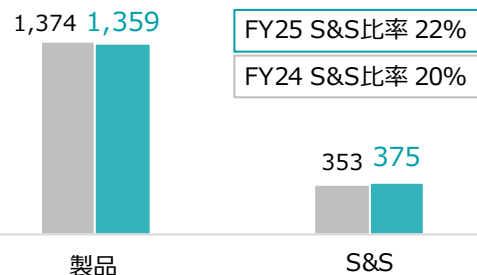
受注高



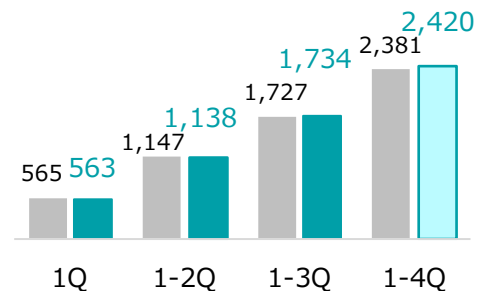
営業利益



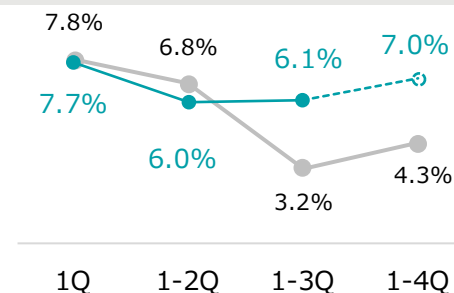
製品・S&S別売上収益 (単位: 億円)



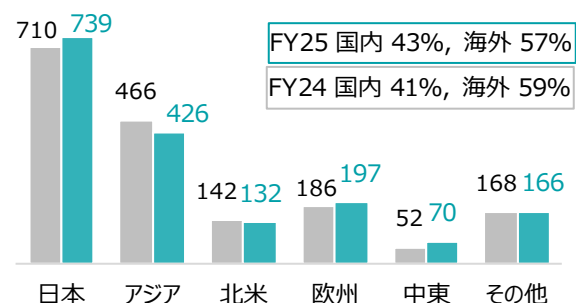
売上収益



営業利益率



地域別売上収益 (単位: 億円)



ポイント (FY24 1-3Q比)

市場環境

- GDP成長率は中東、日本、欧州は回復傾向だが、その他の地域は弱含み
- 中国の建築設備市場は不動産投資抑制により引き続き低調

受注高

- 国内ではS&Sが好調、製品も増加
- 北米でデータセンター向けが堅調に推移
- 中国では、建築設備、産業設備市場向けともに低迷

売上収益

- 国内はS&Sが好調で増収
- 北米でデータセンター向けが堅調に推移
- 海外は、中国の低迷や為替影響があったものの、中東や欧州は堅調

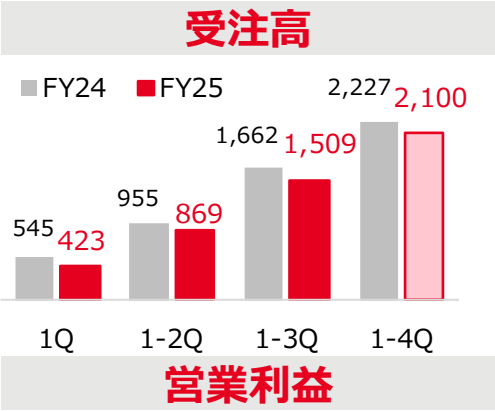
営業利益

- 中国の減収があったものの、国内のS&S増収がカバーして増益 (+)
- 人件費が増加 (-)
- FY25 2Qに米国顧客倒産による貸倒引当金を計上(その他)(-)
- 前年同期はトルコのVansan社に係るのれんの減損損失を計上(その他)(+)

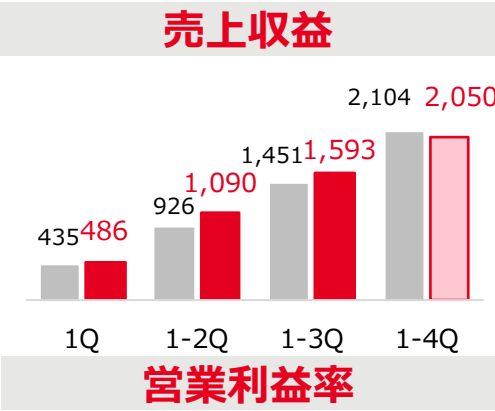
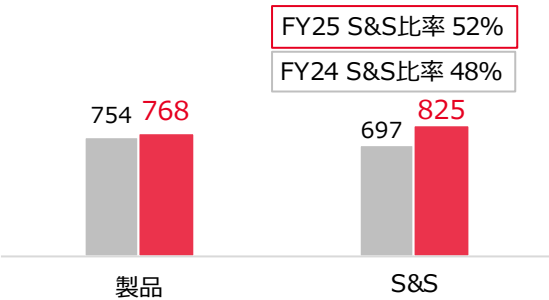
営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



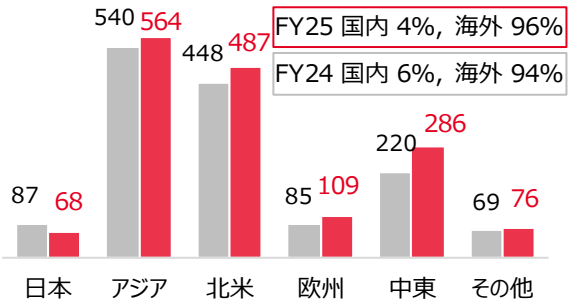
業績推移 (単位: 億円)



製品・S&S別売上収益 (単位: 億円)



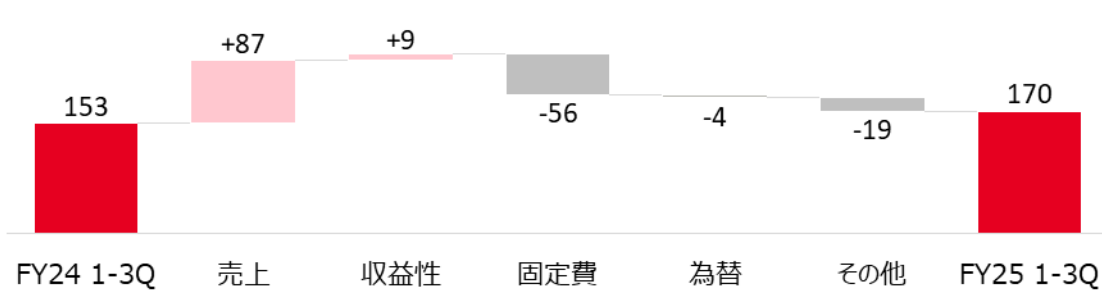
地域別売上収益 (単位: 億円)



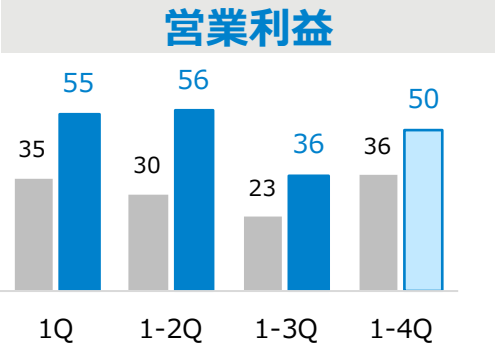
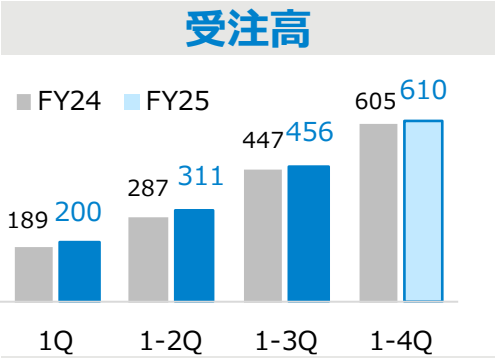
ポイント (FY24 1-3Q比)

- 市場環境**
- 北米・アジア地域で案件の動きが継続、一時投資に慎重だった顧客の投資マインドは回復傾向にある
 - 中国のオイル&ガス市場で減速感がみられる
- 受注高**
- 製品は石油化学案件の減少により前年同期を下回る。中国のオイル&ガス向けは減少したものの、電力向けは堅調
 - S&Sはフィールドサービスやパーツの減少により前年同期を下回る
- 売上収益**
- 製品は北米で増収
 - S&Sは北米・中東・アジアで増収
- 営業利益**
- 増収効果 (+)
 - 人件費が増加 (-)
 - 前期に計上した土地の売却益等なし (-)

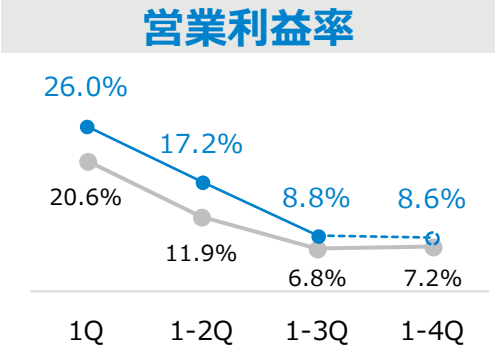
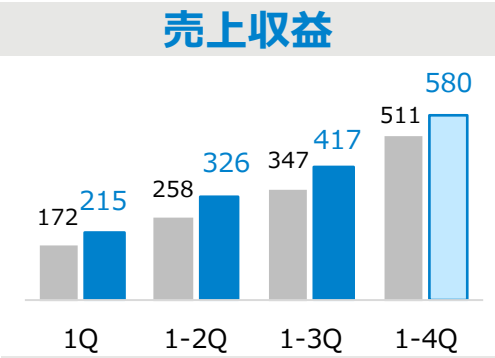
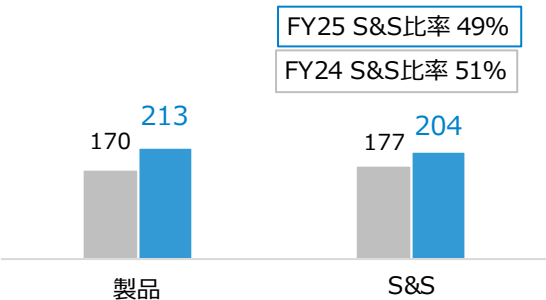
営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



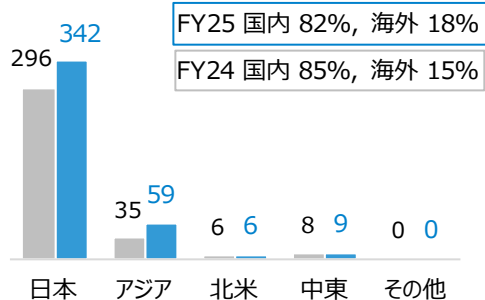
業績推移 (単位: 億円)



製品・S&S別売上収益 (単位: 億円)



地域別売上収益 (単位: 億円)



ポイント (FY24 1-3Q比)

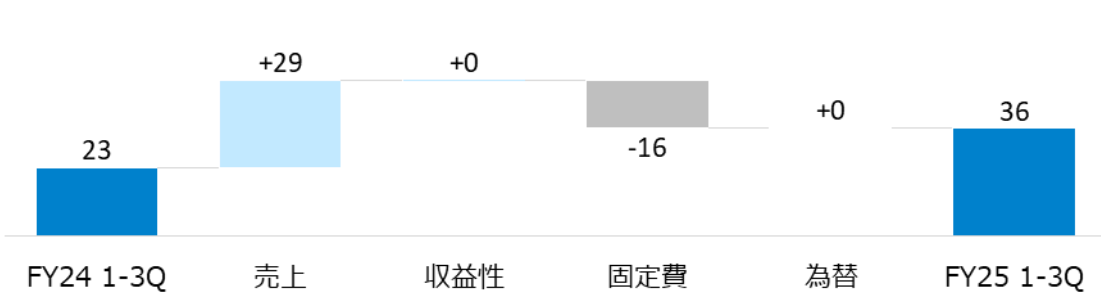
- 市場環境**
- 国内の公共ポンプ市場は堅調に推移
 - 「国土強靱化5か年加速化対策」により事前防災、老朽化対策への投資が堅調に推移

- 受注高**
- 国内公共向けが堅調に推移し増加
 - 南米と北米で大型水インフラ案件を受注

- 売上収益**
- 国内公共向け、海外ともに受注残を順調に消化し増収

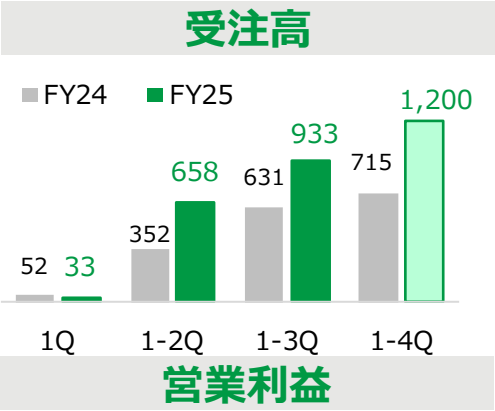
- 営業利益**
- 増収効果 (+)
 - 完工案件の増加により収益性が改善 (+)
 - 人件費やシステム導入費用が増加 (-)

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)

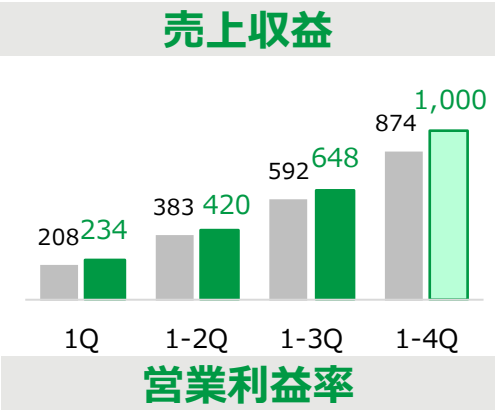
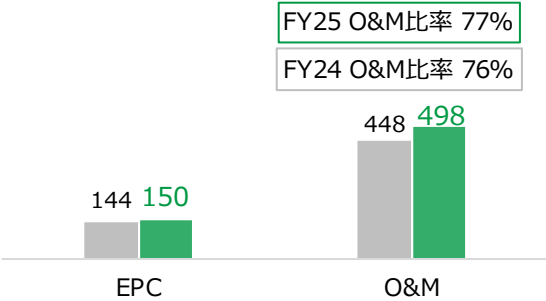




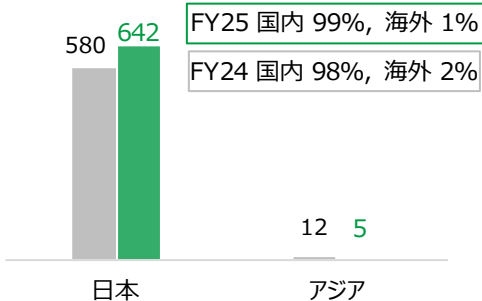
業績推移 (単位: 億円)



EPC・O&M別売上収益 (単位: 億円)



地域別売上収益 (単位: 億円)



ポイント (FY24 1-3Q比)

市場環境 ■ 国内公共向け廃棄物処理施設の新規建設需要は例年
どおり安定的に推移

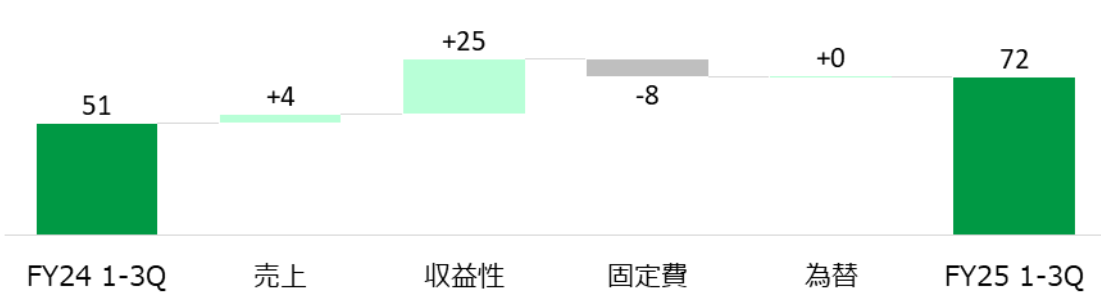
受注高 ■ 大型案件を3件受注

FY24 1-3Q	FY25 1-3Q
・ごみ処理施設延命化: 2件	・ごみ処理施設延命化: 2件 ・ごみ処理施設改修・長期包括契約: 1件

売上収益 ■ EPC*、オペレーション&メンテナンス(O&M)の売上が共に増加
*EPC: プラントの設計・調達・建設

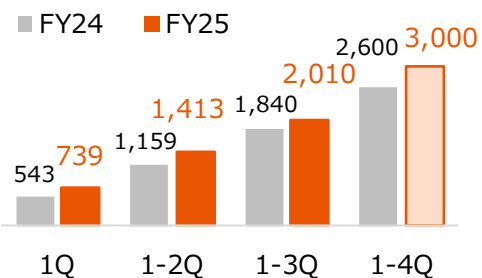
営業利益 ■ 増収効果 (+)
■ EPCとO&Mの収益性が改善 (+)

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)

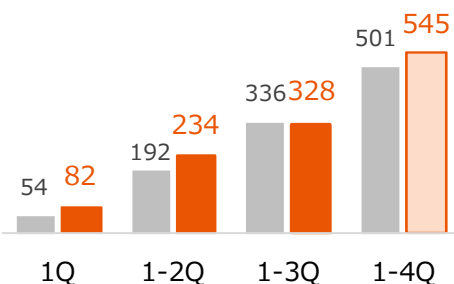


業績推移 (単位: 億円)

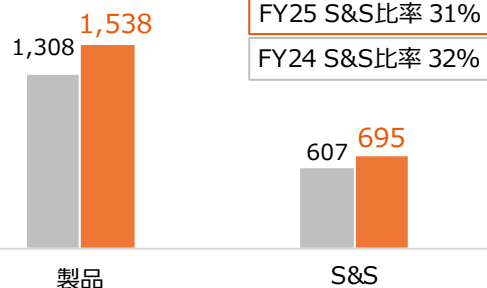
受注高



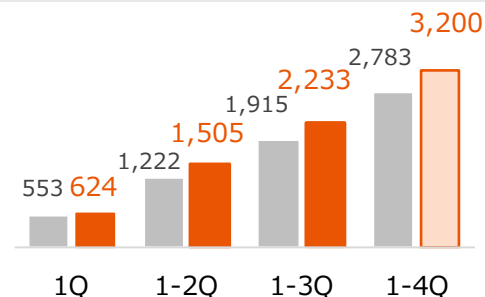
営業利益



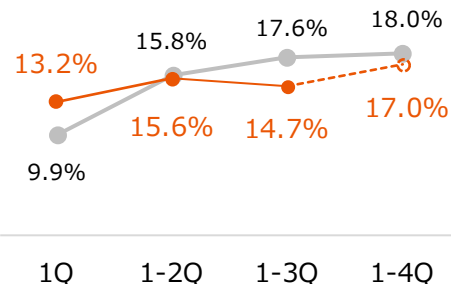
製品・S&S別売上収益 (単位: 億円)



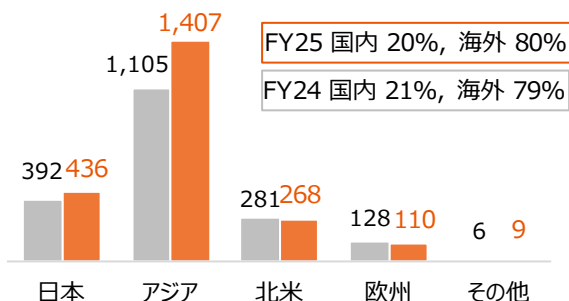
売上収益



営業利益率



地域別売上収益 (単位: 億円)



ポイント (FY24 1-3Q比)

市場環境

- 生成AI向けの需要の増加が継続し、顧客の工場稼働率も回復傾向だが、増産投資の本格的な再開は当初の想定より遅れている
- 中国市場は従来の勢いが落ち着くも、一定の規模を維持

受注高

- CMP、コンポーネントの需要回復により、製品、S&S共に増加

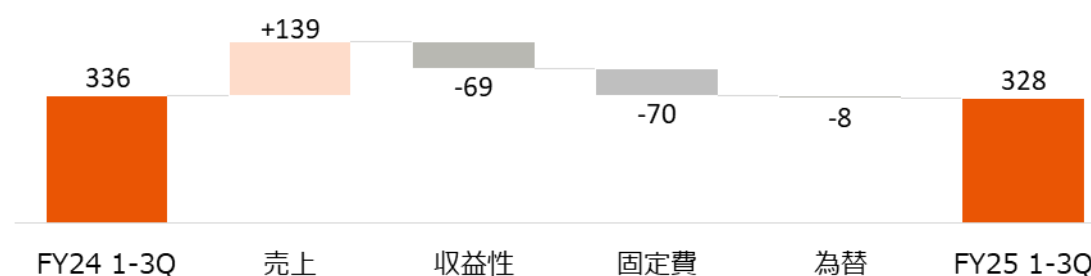
売上収益

- CMP、コンポーネント共に製品、S&Sいずれも堅調で増収

営業利益

- 増収効果 (+)
- 案件ミックスやS&S比率の低下により、収益性が低下 (-)
- 人件費や研究開発費が増加 (-)

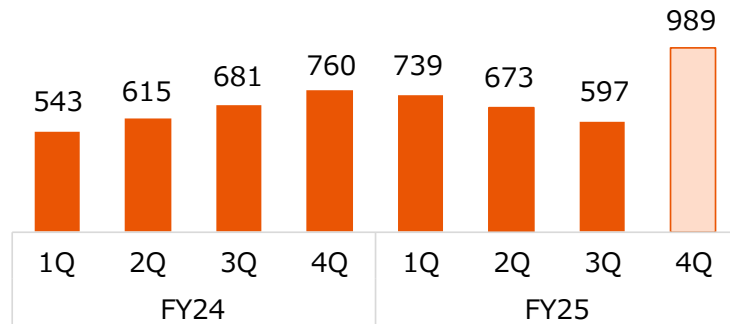
営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



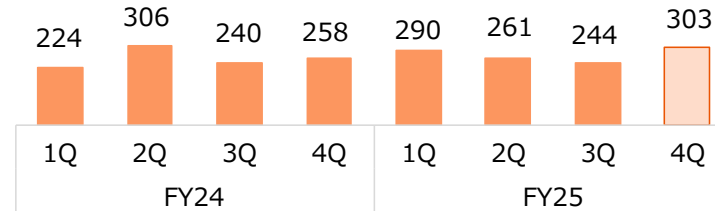
精密・電子 業績推移（四半期）

受注高（単位：億円）

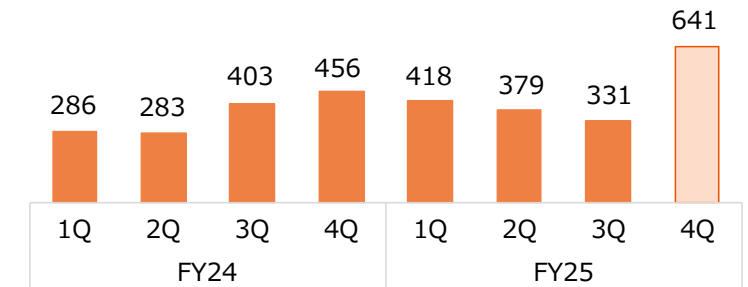
精密・電子



コンポーネント

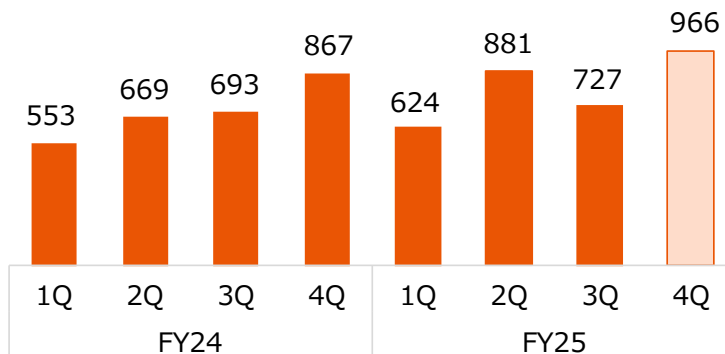


CMP

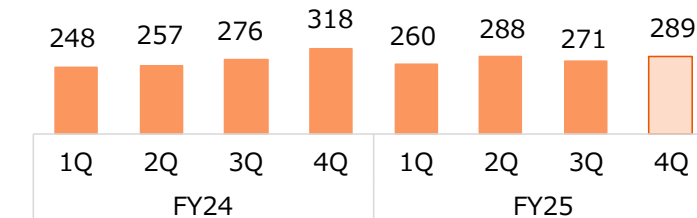


売上収益（単位：億円）

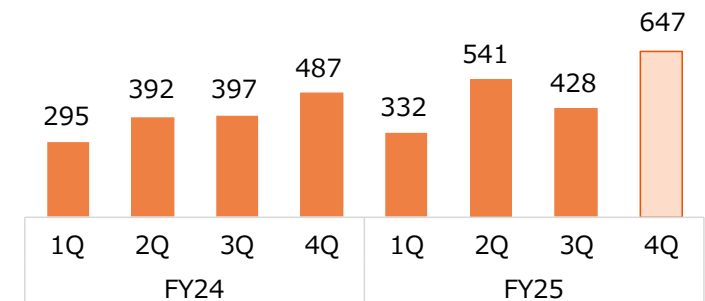
精密・電子



コンポーネント

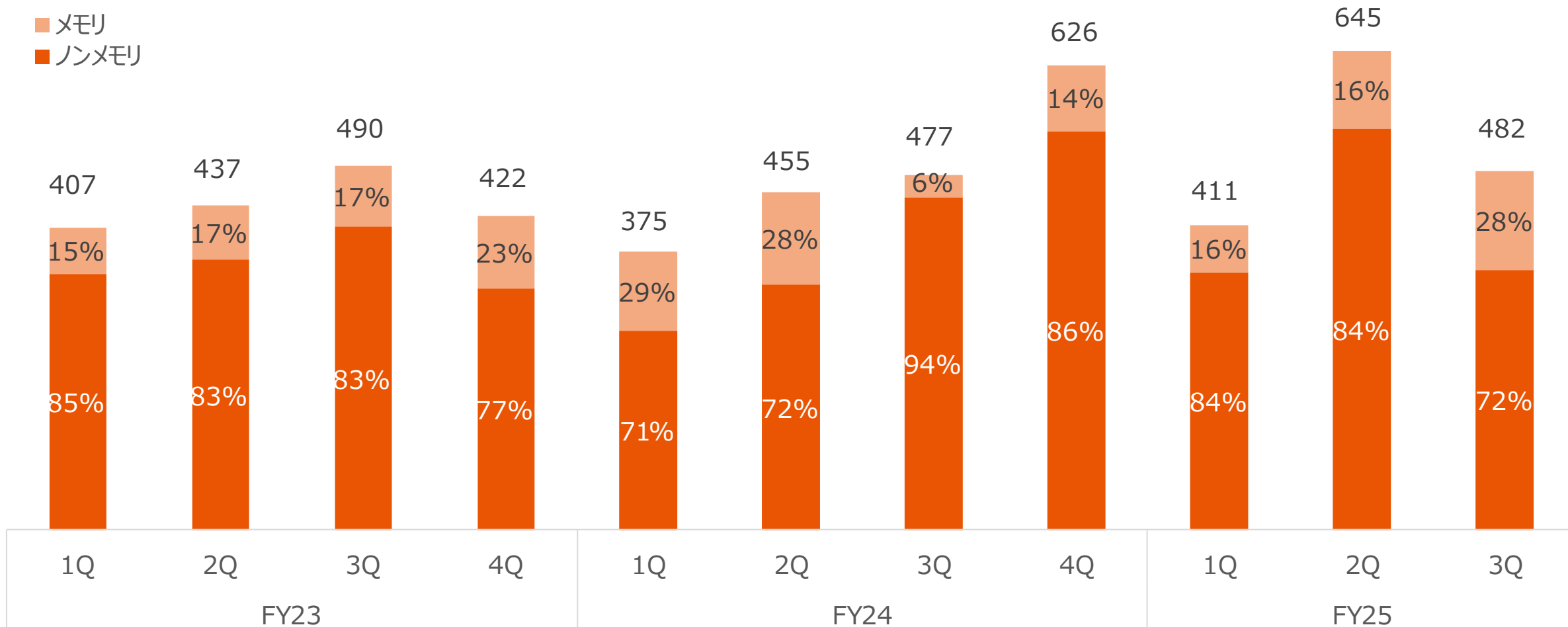


CMP



精密・電子 売上収益推移 製品のアプリケーション別構成比（四半期）

売上収益（単位：億円）



*メモリ、ノンメモリの区分は社内定義による

1. FY25 1-3Q 連結決算サマリ
2. FY25 1-3Q セグメント別業績
- 3. FY25 業績予想**
4. トピックス
5. 補足資料

セグメント	主な対面市場	市場別・地域別トレンド		当社の市場見立て FY25（1年間） ^{*1}
建築・産業	建築設備・ 産業設備	- 欧州は、建設費、労働コストの上昇により設備投資が低迷 - 中国は、建築設備、産業市場が低迷 - 米国は、関税政策等の影響が見込まれるが、データセンター需要は増加見込み	 海外	2%台成長見込み
		- 建築設備市場は、建設コストの高止まりや人手不足により工事の先送り等は継続 - 産業市場は、設備投資の需要が継続	 国内	横ばい
エネルギー	石油・ガス 新エネルギー 電力	- 製品分野は、石油化学市場は北米・アジア・中東地域を中心に需要が堅調に推移したものの、中国では減速感がみられる。一方で、LNG市場は特に北米で顧客の投資マインドが回復傾向にあり、堅調な成長が期待される。 - サービス分野は、メンテナンス需要は通常レベルに戻る見込み - 脱炭素関連市場は、アンモニア、CCUS等を中心に需要は拡大見込み - 電力市場は、国内やアジアを中心にアンモニア転換プロジェクトの計画が増加見込み	 グローバル	LNG：5%台成長見込み エチレン：4%台成長見込み
インフラ	水インフラ 換気	国土強靱化計画などにより安定的に推移	 国内	横ばい
		- 人口増による水需要はアジアを中心に堅調 - 地球温暖化・異常気象により世界各地で洪水被害が年々増加し、河川排水ポンプは一定の需要が継続	 海外	4%台成長見込み
環境	固形廃棄物処理	- 公共向け廃棄物処理施設の新規建設需要は、概ね例年どおり推移 - 老朽化施設の延命化需要が増加	 国内	横ばい
精密・電子	半導体製造	- 市場全般としては、長期的に生成AI関連を中心に拡大基調を想定 - 顧客の投資はデバイスタイプ・経営状況によりばらつきがある	 グローバル	WFE ^{*2} ：4%台成長見込み

全社の通期業績予想を上方修正

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1-4Q						
	FY24 実績 a	FY25 旧計画 25/08/14 b	FY25 計画 25/11/13 c	前期比		旧計画比	
				増減 c-a	増減率 (c-a)/a	増減 c-b	増減率 (c-b)/b
受注高	8,605	9,400	9,440	+834	+9.7%	+40	+0.4%
売上収益	8,666	9,000	9,270	+603	+7.0%	+270	+3.0%
営業利益	979	1,025	1,100	+120	+12.3%	+75	+7.3%
営業利益率	11.3%	11.4%	11.9%	+0.6pts	-	+0.5pts	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	714	724	740	+25	+3.6%	+16	+2.2%
ROIC	12.2%	11.6%	12.4%	+0.2pts		+0.8pts	
ROE	16.2%	15.1%	15.4%	-0.8pts		+0.3pts	
基本的 1 株当たり当期利益 (円) *1	154.62	156.72	160.25	+5.63	+1.4%	+3.53	+2.2%
1株当たり年間配当金 (円) *1	55.0	56.0	56.0	+1.0		-	
為替レート*2							
対米ドル (円)	151.41	145.00	145.00			-	
対ユーロ (円)	163.80	160.00	160.00			-	
対人民元 (円)	21.04	20.00	20.00			-	

*1 2024年7月1日に1株を5株とする株式分割を実施。記載は株式分割後ベースに調整した数値

*2 為替レート：FY24は四半期毎の期中平均レート実績を単純平均した値で表記。25/11/13発表のFY25は、4Qの想定為替レートを表記

3. FY25 業績予想 セグメント別



(単位：億円)
発表日(年/月/日)

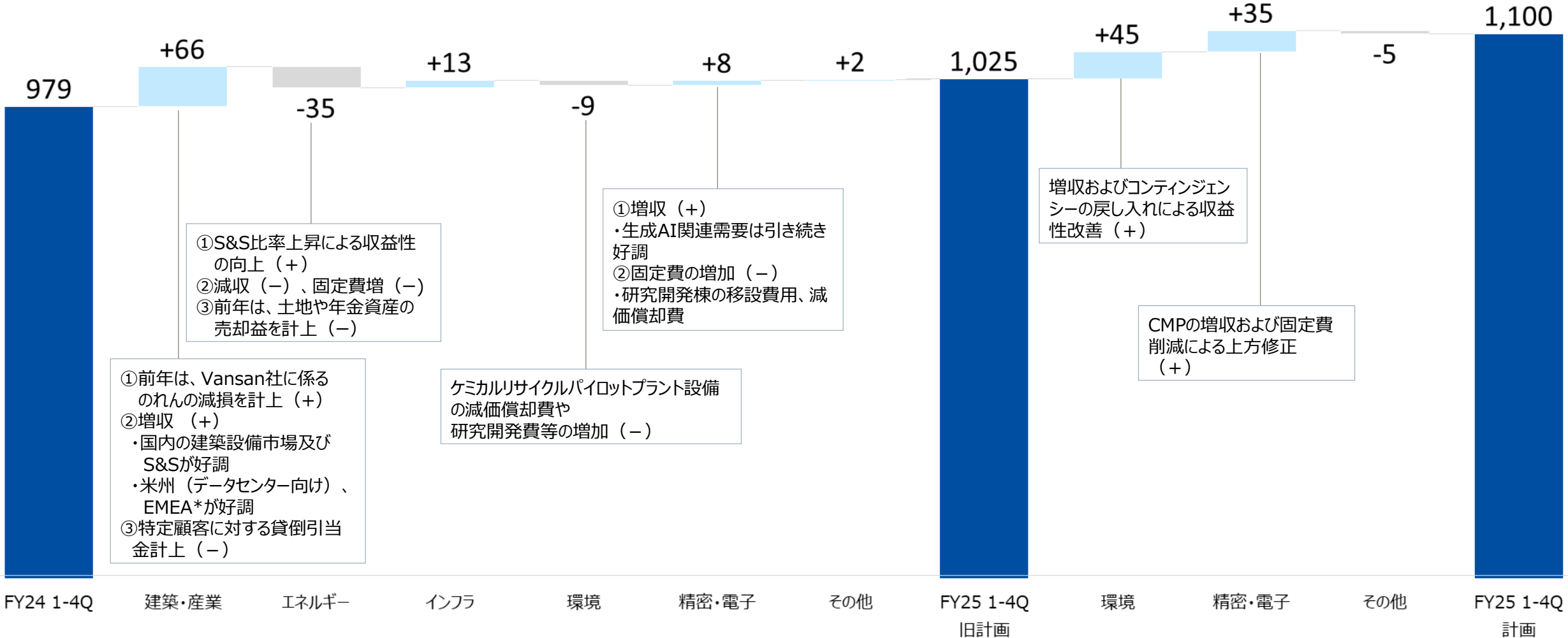
(単位：億円) 発表日(年/月/日)		1-4Q						
		FY24 実績 a	FY25 旧計画 25/08/14 b	FY25 計画 25/11/13 c	前期比		旧計画比	
					増減 c-a	増減率 (c-a)/a	増減 c-b	増減率 (c-b)/b
連結合計	受注高	8,605	9,400	9,440	+834	+9.7%	+40	+0.4%
	売上収益	8,666	9,000	9,270	+603	+7.0%	+270	+3.0%
	営業利益	979	1,025	1,100	+120	+12.3%	+75	+7.3%
	営業利益率	11.3%	11.4%	11.9%	+0.6pts		+0.5pts	
建築・産業	受注高	2,444	2,550	2,500	+55	+2.3%	-50	-2.0%
	売上収益	2,381	2,420	2,420	+38	+1.6%	-	-
	営業利益	103	170	170	+66	+64.4%	-	-
	営業利益率	4.3%	7.0%	7.0%	+2.7pts		-	
エネルギー	受注高	2,227	2,100	2,100	-127	-5.7%	-	-
	売上収益	2,104	2,050	2,050	-54	-2.6%	-	-
	営業利益	280	245	245	-35	-12.5%	-	-
	営業利益率	13.3%	12.0%	12.0%	-1.3pts		-	
インフラ	受注高	605	560	610	+4	+0.7%	+50	+8.9%
	売上収益	511	580	580	+68	+13.5%	-	-
	営業利益	36	50	50	+13	+35.2%	-	-
	営業利益率	7.2%	8.6%	8.6%	+1.4pts		-	
環境	受注高	715	970	1,200	+484	+67.6%	+230	+23.7%
	売上収益	874	930	1,000	+125	+14.4%	+70	+7.5%
	営業利益	84	75	120	+35	+42.1%	+45	+60.0%
	営業利益率	9.7%	8.1%	12.0%	+2.3pts		+3.9pts	
精密・電子	受注高	2,600	3,200	3,000	+399	+15.4%	-200	-6.3%
	売上収益	2,783	3,000	3,200	+416	+15.0%	+200	+6.7%
	営業利益	501	510	545	+43	+8.7%	+35	+6.9%
	営業利益率	18.0%	17.0%	17.0%	-1.0pts		-	
その他、調整	受注高	12	20	30	+17	+145.9%	+10	
	売上収益	11	20	20	+8	+79.2%	-	
	営業利益	-26	-25	-30	-3	-	-5	
	営業利益率	-239.5%	-125.0%	-150.0%	+89.5pts		-25.0pts	

営業利益増減分析



環境、精密・電子の増益により、全社営業利益予想を1,100億円に上方修正

(単位：億円)



* Europe, the Middle East, Africa

発表日25/8/14

発表日25/11/13

1. FY25 1-3Q 連結決算サマリ
2. FY25 1-3Q セグメント別業績
3. FY25 業績予想
- 4. トピックス**
5. 補足資料

荏原グループの中期的な投資戦略

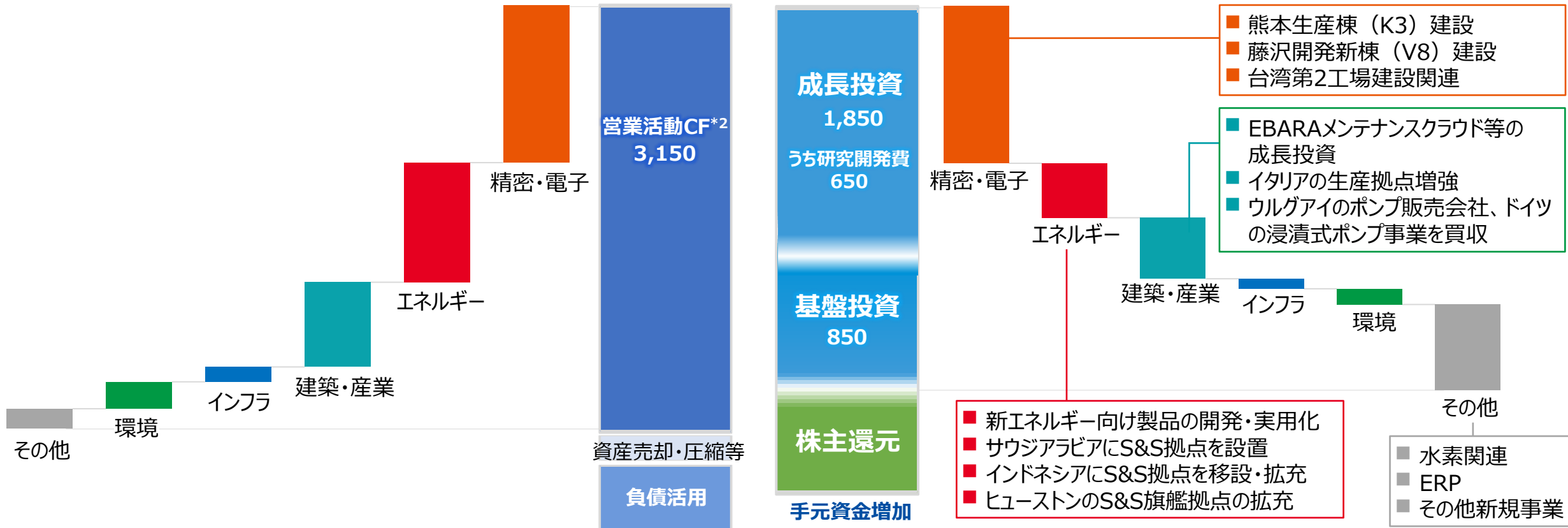


- E-Plan2025では、成長事業の中でも特に大きな成長が期待できる精密・電子において、生産能力の増強や先端半導体製造に向けた研究開発、先行設備投資を積極的に展開
- エネルギーでは、S&S拠点の能力拡充や配置の最適化を実施。新エネルギー向けに、H2コンプレッサやアンモニアキンドモータポンプを開発し実用化
- 建築・産業においては、製品の付加価値向上や収益性・効率性の改善を目的とした、M&Aやソリューションビジネスへの投資を展開

キャッシュジェネレーション (FY23-25 3年累計*1)

FY23-25 3年累計計画

キャッシュアロケーション (FY23-25 3年累計*1)

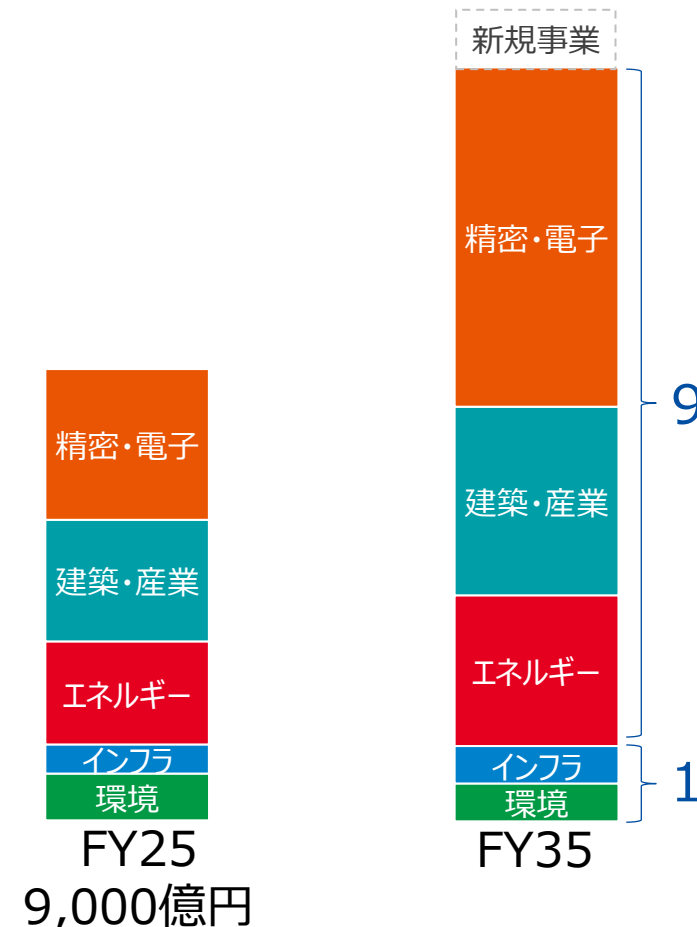
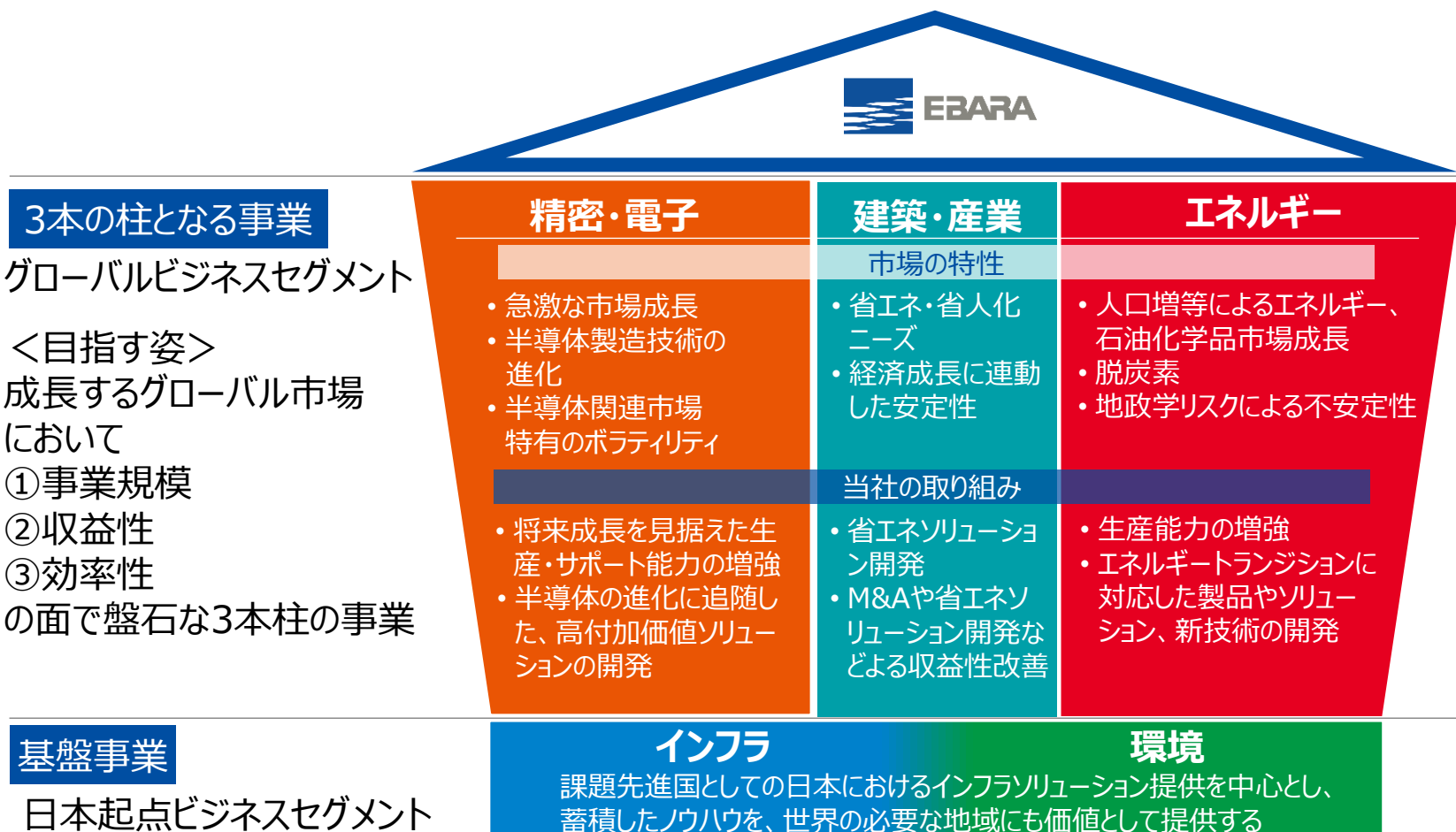


2035年にありたい事業ポートフォリオのイメージ

- 2035年にありたい事業ポートフォリオのイメージは、事業規模、収益性、効率性の面で盤石な3本の強固な柱により、「グローバル・エクセレント・カンパニーとしてのもう一段の進化」を実現し、その時々課題やニーズに取り組むことで、更に進化し続ける姿
- 建築・産業は、収益性・効率性の向上を重視したM&Aの展開などにより、3本目の強固な柱に成長させる

「グローバル・エクセレント・カンパニーとしてのもう一段の進化」を実現する事業ポートフォリオ

売上収益構成比イメージ



三菱電機の三相モータ事業を譲受

三菱電機FAシステム事業本部が国内で事業展開する三相モータおよびIPMモータ事業と、三菱電機のタイ子会社 Mitsubishi Electric Automation (Thailand) Co., Ltd. が事業展開するモータ、ポンプおよびダイカスト^{*1}事業を、荏原に譲渡することで2025年11月12日に合意

対象事業	三相モータ ^{*2} 、IPM ^{*3} モータ、ポンプおよびダイカストの設計・製造・販売・サービス
譲受完了時期	2026年中予定
狙い	■ モータに関する設計・開発力、技術ノウハウを取得することにより当社製品とモータ・回転制御技術を一体化した圧倒的な省エネソリューションを提供 ■ 日本・タイにおける生産体制を獲得・拡充することによりグローバル市場での成長を加速

^{*1} 金型に溶融した金属を高速・高圧で圧入することで、鋳物を大量生産する鋳造技術

^{*2} 3つの交流電流を動力源とする電動機

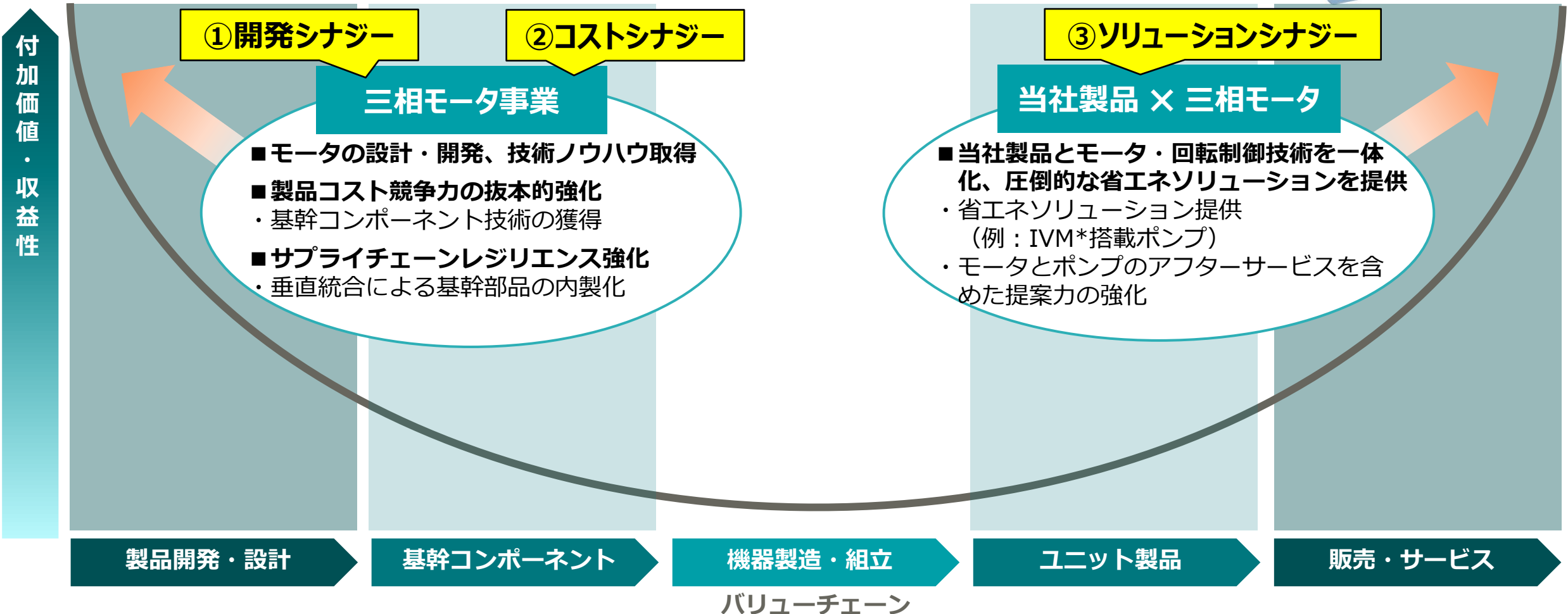
^{*3} Interior Permanent Magnet：永久磁石埋込式

建築・産業セグメントのM&A戦略

- グローバルで産業機械に対する省エネニーズが一段と高まる中、建築・産業セグメントの省エネソリューションの提案力を強化・加速させるため、高付加価値領域であるスマイルカーブの両端を強化



(モータイメージ)
当社製IVM搭載
ポンプ FSDV型



1. FY25 1-3Q 連結決算サマリ
2. FY25 1-3Q セグメント別業績
3. FY25 業績予想
4. トピックス
- 5. 補足資料**

連結業績予想 (FY25 3-4Q)

		FY23		FY24		FY25	
		1-2Q	3-4Q	1-2Q	3-4Q	1-2Q	3-4Q 計画 25/11/13
(単位：億円) 発表日(年/月/日)							
連結合計	受注高	3,676	4,529	3,996	4,609	4,513	4,926
	売上収益	3,638	3,955	3,945	4,721	4,487	4,782
	営業利益	337	523	399	580	500	599
	営業利益率	9.3%	13.2%	10.1%	12.3%	11.2%	12.5%
建築・産業	受注高	1,110	1,103	1,236	1,208	1,255	1,244
	売上収益	1,065	1,156	1,147	1,234	1,138	1,281
	営業利益	67	90	78	25	68	101
	営業利益率	6.3%	7.8%	6.8%	2.0%	6.0%	7.9%
エネルギー	受注高	1,014	1,213	955	1,272	869	1,230
	売上収益	794	878	926	1,178	1,090	959
	営業利益	73	150	75	205	111	133
	営業利益率	9.2%	17.1%	8.1%	17.4%	10.2%	13.9%
インフラ	受注高	252	314	287	318	311	298
	売上収益	292	209	258	253	326	253
	営業利益	44	2	30	6	56	-6
	営業利益率	15.0%	1.0%	11.9%	2.4%	17.2%	-2.4%
環境	受注高	492	516	352	363	658	541
	売上収益	309	406	383	491	420	579
	営業利益	26	43	36	48	44	75
	営業利益率	8.5%	10.6%	9.4%	9.8%	10.5%	13.1%
精密・電子	受注高	799	1,378	1,159	1,441	1,413	1,586
	売上収益	1,169	1,300	1,222	1,561	1,505	1,694
	営業利益	126	256	192	309	234	310
	営業利益率	10.8%	19.7%	15.8%	19.8%	15.6%	18.3%
その他、調整	受注高	5	6	5	7	5	24
	売上収益	6	5	5	6	5	14
	営業利益	0	-18	-13	-13	-14	-15
	営業利益率	9.1%	-360.2%	-227.6%	-216.7%	-252.1%	-108.1%

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY24				FY25			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q 計画 25/11/13
連結合計	1,916	3,996	6,436	8,605	1,998	4,513	6,801	9,440
建築・産業	581	1,236	1,845	2,444	597	1,255	1,883	2,500
エネルギー	545	955	1,662	2,227	423	869	1,509	2,100
インフラ	189	287	447	605	200	311	456	610
環境	52	352	631	715	33	658	933	1,200
精密・電子	543	1,159	1,840	2,600	739	1,413	2,010	3,000
コンポーネント	224	531	771	1,029	290	551	796	1,100
CMP	286	569	973	1,430	418	797	1,128	1,770
その他	33	58	95	140	31	63	85	130
その他	2	5	8	12	2	5	8	30

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY24				FY25			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q 計画 25/11/13
連結合計	1,938	3,945	6,043	8,666	2,126	4,487	6,635	9,270
建築・産業	565	1,147	1,727	2,381	563	1,138	1,734	2,420
エネルギー	435	926	1,451	2,104	486	1,090	1,593	2,050
インフラ	172	258	347	511	215	326	417	580
環境	208	383	592	874	234	420	648	1,000
精密・電子	553	1,222	1,915	2,783	624	1,505	2,233	3,200
コンポーネント	248	506	782	1,100	260	548	820	1,110
CMP	295	688	1,085	1,573	332	873	1,302	1,950
その他	8	28	48	109	31	82	109	140
その他	2	5	8	11	3	5	9	20

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY24				FY25			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q 計画 25/11/13
連結合計	192	399	598	979	226	500	695	1,100
建築・産業	43	78	55	103	43	68	105	170
エネルギー	36	75	153	280	19	111	170	245
インフラ	35	30	23	36	55	56	36	50
環境	30	36	51	84	30	44	72	120
精密・電子	54	192	336	501	82	234	328	545
その他、調整	-8	-13	-22	-26	-6	-14	-19	-30

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY24				FY25			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1-4Q 計画 25/11/13
連結合計	9,091	9,380	9,387	9,171	8,868	9,005	9,196	9,341
建築・産業	650	732	724	687	699	764	808	767
エネルギー	2,329	2,353	2,323	2,390	2,220	2,008	2,208	2,440
インフラ	696	708	774	769	750	748	807	799
環境	3,321	3,572	3,638	3,444	3,241	3,707	3,720	3,644
精密・電子	2,094	2,013	1,926	1,879	1,955	1,775	1,651	1,679
その他	0	0	0	1	1	1	0	11

地域別売上収益

(単位：億円)	FY24				FY25		
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q
建築・産業	565	1,147	1,727	2,381	563	1,138	1,734
日本	261	487	710	1,004	270	500	739
アジア（日本除く）	128	297	466	638	116	268	426
北米	40	88	142	185	45	85	132
欧州	60	127	186	244	59	130	197
中東	23	38	52	73	20	48	70
その他	52	108	168	234	50	104	166
エネルギー	435	926	1,451	2,104	486	1,090	1,593
日本	23	48	87	114	19	49	68
アジア（日本除く）	144	326	540	763	165	377	564
北米	123	296	448	665	148	328	487
欧州	23	46	85	101	24	73	109
中東	103	165	220	361	100	206	286
その他	18	44	69	98	26	53	76
インフラ	172	258	347	511	215	326	417
日本	162	233	296	421	200	280	342
アジア（日本除く）	7	20	35	67	9	34	59
北米	0	0	6	10	1	3	6
中東	1	2	8	11	3	7	9
その他	-	-	0	0	-	0	0
環境	208	383	592	874	234	420	648
日本	208	380	580	837	233	418	642
アジア（日本除く）	0	2	12	36	1	2	5
精密・電子	553	1,222	1,915	2,783	624	1,505	2,233
日本	140	295	392	517	113	274	436
アジア（日本除く）	291	669	1,105	1,687	352	931	1,407
北米	83	183	281	374	108	212	268
欧州	34	69	128	194	44	71	110
その他	2	4	6	9	5	14	9

サービス&サポート(S&S)売上収益

(単位：億円)

		FY24				FY25		
		1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q
建築・産業	S&S売上収益	130	243	353	502	135	258	375
	S&S比率	23%	21%	20%	21%	24%	23%	22%
エネルギー	S&S売上収益	221	442	697	1,009	243	551	825
	S&S比率	51%	48%	48%	48%	50%	51%	52%
インフラ	S&S売上収益	100	143	177	247	118	171	204
	S&S比率	58%	55%	51%	48%	55%	53%	49%
環境	O&M売上収益	172	305	448	638	181	321	498
	O&M比率	83%	80%	76%	73%	77%	76%	77%
精密・電子	S&S売上収益	177	391	607	848	212	449	695
	S&S比率	32%	32%	32%	31%	34%	30%	31%

貸借対照表



(単位：億円)	FY24 3Q a	FY24 4Q b	FY25 3Q c	増減 c-a	増減 c-b
資産合計	9,484	10,050	10,482	+998	+432
流動資産	6,670	7,053	7,031	+361	-21
現金及び現金同等物	1,837	1,710	1,739	-97	+29
営業債権	2,385	2,879	2,614	+229	-264
棚卸資産	2,063	2,059	2,202	+138	+142
その他流動資産	384	403	475	+91	+71
非流動資産	2,814	2,997	3,450	+636	+453
負債合計	5,065	5,197	5,558	+493	+361
営業債務	1,287	1,449	1,320	+32	-129
有利子負債	1,492	1,504	2,071	+578	+567
その他負債	2,285	2,243	2,167	-117	-76
資本合計	4,419	4,853	4,923	+504	+70
親会社所有者帰属持分	4,308	4,732	4,798	+490	+66
その他資本	110	120	124	+13	+4
親会社所有者帰属持分比率	45.4%	47.1%	45.8%	+0.4pts	-1.3pts
D/Eレシオ	0.35	0.32	0.43	+0.08	+0.11

キャッシュ・フロー



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1-3Q			1-4Q				
	FY24	FY25	増減	FY24	FY25 計画 25/08/14	FY25 計画 25/11/13	前期比	旧計画比
	a	b	b-a	c	d	e	増減 e-c	増減 e-d
営業活動CF	926	441	-485	1,009	800	700	-309	-100
投資活動CF	-307	-605	-297	-485	-1,000	-900	-414	+100
フリーCF	618	-164	-782	523	-200	-200	-723	-
財務活動CF	-265	181	+446	-319	-310	-310	+9	-

資本的支出、減価償却費、研究開発費

(単位：億円)

発表日(年/月/日)

	1-3Q			1-4Q		
	FY24	FY25	増減	FY24	FY25 計画 25/11/13	前期比
	a	b	b-a	c	d	増減 d-c
資本的支出	420	772	+352	586	1,220	+633
建築・産業	58	115	+56	88	160	+71
エネルギー	54	101	+47	76	150	+73
インフラ	13	7	-6	13	30	+16
環境	25	17	-8	42	20	-22
精密・電子	154	298	+144	199	500	+300
その他、調整	113	231	+118	164	360	+195
減価償却費	222	249	+26	300	340	+39
建築・産業	59	55	-3	79	70	-9
エネルギー	39	39	+0	51	50	-1
インフラ	6	8	+1	9	10	+0
環境	6	8	+1	8	20	+11
精密・電子	62	71	+9	83	100	+16
その他、調整	49	65	+16	66	90	+23
研究開発費	144	161	+17	205	260	+54
建築・産業	36	38	+1	52	60	+7
エネルギー	17	17	-0	27	30	+2
インフラ	4	5	+0	7	10	+2
環境	13	15	+2	18	20	+1
精密・電子	71	85	+13	99	140	+40



ニュースリリース発信日

ESG総合	ESGスモールミーティング2025を開催	2025/10
E : 環境	荏原環境プラント ごみ焼却施設の遠隔監視業務におけるISMS認証（ISO/IEC27001）を更新	2025/10
	荏原環境プラント 環境省の使用済みリチウムイオン電池回収に関する実証事業に協力 ～IoT技術で安全な回収を実現～	2025/10
S : 社会	第3回 IUVSTA(国際真空科学技術連合) EBARA Award 受賞者が決定	2025/10
外部評価	「Gomez ESGサイトランキング2025」で優秀企業に選出	2025/10
その他	MSCI All Country World Indexへの採用	2025/11
	日本IR協議会「IR優良企業賞2025」において「IR優良企業大賞」を受賞	一般社団法人 日本IR協議会 による発表

免責事項

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。